

特定非営利活動法人 藍住町手をつなぐ育成会  
**放課後等デイサービス評価票（平成30年度）**

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	活動スペースが十分あり、その活動スペースに合った利用定員を定めているか	2	6		・体を動かすスペースは十分ではないが、学習と活動をする部屋で分けて支援を行っている。 ・活動室を学習と遊びスペースに区分している。全員の学習が終わると全面開放して活動に使用している。
	②	利用人数に対し、職員の配置数は適切であるか	6	2		・非常勤職員や学生アルバイトなどで、人数が多い日などは対応している。
	③	事業所のバリアフリー化や、障がい特性及び発達状況に応じた支援ツールなどの、子どもが心地よく過ごせるような配慮がなされているか	5	3		・男性女性兼用のトイレであり、分けることが難しく、配慮していく必要がある。 ・男女別のトイレ・更衣室などが整備されておらず、清潔を損ねて使用している。
業務 改善	④	業務の改善を進めるため、目標を設定し、またその振り返りに職員が努めているか	5	3		
	⑤	利用者の家族等に向けたアンケート調査を実施し、その意向等を把握した上で、業務改善につなげているか	8			
	⑥	この自己評価結果を、事業所のホームページ等で公開しているか	6	2		
	⑦	第三者による外部評価を行い、業務改善につなげているか	1	3	4	・現在、外部評価を行ったことがない。
	⑧	事業所での研修会や自治体などが実施する研修へ参加し、また自らも児童発達や障がいに対する知識や理解を深め、技術習得に努めているか	8			・様々な研修会など積極的に参加をしている。
適切な 支援の 提供	⑨	子どもと家族等のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		
	⑩	子どもの発達状況、心理的課題、養育環境、子どもの興味関心ごと、将来展望等について、必要な情報を収集し分析を行っているか	6	2		・相談支援専門員の訪問がほとんどない専門員もおり、連携が不十分であるが、家族とは、モニタリング時だけでなく、その都度連絡を取り、連携を深めている。
	⑪	活動内容をチームで話し合い、共有しているか	7	1		・会議を定期的に行い、情報共有をしている。
	⑫	発達段階や状況に応じて、支援の内容や方法を工夫して行っているか	7	1		・宿題を行った後など、個別に対応する時間が少ないこともあり、支援の内容を工夫していく必要がある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、個別に課題を設定し、細やかな支援をしているか	6	2		・長期休暇の際は利用人数が多く、個別対応が難しい場合もあるが、できる範囲で工夫しながら個別・小グループ・集団と対応している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別の対応をしているか	8			・状況に応じて部屋を分ける工夫をしている。
	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		・打ち合わせの時間を設定していないが、職員相互で取り決めをして役割共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	5	3		・打ち合わせの時間を設定していないが、その日のできごとや気になる点などは、職員間で共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・毎月、会議等を開催して情報共有し、改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しをしているか	8			・年2回している。
連携	⑲	基本的な生活習慣の習得、創作活動等を通じての自己表現、地域交流による社会性の向上、活動選択し自己決定を促す等の支援を行っているか	7	1		・行事でお祭りなどを開催して、地域との交流を行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した専門的な者が参加しているか	7	1		

関係機関や家族等との連携	⑳	学校との連携（年間計画・行事予定の交換、下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	2		・概ねできているが、対応に「ばらつき」があり不十分な場面も見られる。
	㉑	医療ケアが必要な子どもに対し、その子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	2	3	3	・医療ケアが必要な利用者がいない。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	1	・情報収集に努めているが充分とは言えない。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供をしているか	2	5	1	・相談支援専門員等と情報共有することはあるが、支援内容の伝達に不十分なことが多く、意向支援に関する取り組みには課題が多い。
	㉔	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		・研修等を定期的に受講しているが、専門機関との連携はまだ不十分である。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を設けているか	2	4	2	・他の通所支援事業所等と、スポーツなどを通じて交流がある。障がいのない子どもとの交流はない状態であり、交流を深めていく必要がある。 ・今まではなかったが、交流できる行事を考えている。 ・地域の児童館との交流を試みたが、受け入れられなかった。
	㉖	関係機関・団体との連携を円滑なものにするための（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	4		
	㉗	日頃から子どもの状況を伝え合い、共通理解できているか	7	1		・連絡帳や送迎時間などを利用して、情報の共有化や共通理解を図っている。 ・家族とは連絡帳や送迎の際に話すなどして連携を図っているが、関係機関からの情報提供はほとんどない。
	㉘	利用者の家族等に対して、ペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6	1	・過去にペアレント・トレーニング研修を実施したことを振り返り、さらなる研修の機会の必要性を感じる。
家族等への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等についていぬいな説明を行っているか	8			・連絡帳に、当日のできごとや活動内容を記載している。 ・利用契約やモニタリングの際に行っている。
	㉚	利用者の家族等からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・その都度対応を行い、必要であれば面談等を行っている。 ・電話・訪問等で面談の機会を持ち、その都度対応している。
	㉛	それぞれの家族が交流できる機会や行事等の開催を行っているか	8			・親子交流会や親子遠足など、多くのご家族に参加していただけるよう行事を計画、実施している。
	㉜	子どもや家族等からの苦情について、対応する体制があるとともに、苦情があった場合迅速かつ適切に対応しているか	8			・苦情の内容等を会議で検討して、可能な限り迅速に対応するように努めている。 ・できるだけ対応するよう心掛けている。
	㉝	子どもや家族に対し、定期的に活動概要や行事予定表の配布、必要な情報を発信しているか	8			・ホームページに活動内容を掲載したり、「オレンジノートだより」を配布するなど、わかりやすく、実態情報を伝えるようにしている。 ・事業所のブログや定期発行もオレンジノートだよりなどで発信している。
	㉞	事業所体制として、子どもや家族の個人情報保護に、十分な注意があるか	8			
	㉟	子どもと家族の相互コミュニケーションを図れる機会の配慮をしているか	7	1		・親子交流会や親子遠足等、コミュニケーションをとることのできる機会を設けているが、まだ不十分であり、配慮をしていく必要がある。 ・日々の送迎の際や各種行事に家族も招待するなどして、交流の場を持っている。
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待するなどの、地域に開かれた事業運営を図っているか	8			・お祭りなど地域住民を事業所に招待しているが参加者はまだ少なく、引き続き行っていく。 ・おもちつきや祭りなど、周辺住民に声をかけている。 ・町内会にお餅つきなどの案内をしているが、関係が希薄で交流はできていない。
非常時等の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しているか	6	1		・各種マニュアルの策定はされているが、全ての職員への十分な把握には至っていない。
	㊳	非常災害の発生に備え、避難経路の確認、避難訓練等を行っているか	7	1		・年2回の防災訓練を実施しているほか、防災センターなどの行き、体験も行っている。
	㊴	虐待を防止するために、職員の研修機会を保持する等、適切な対応を行っているか	8			・虐待防止研修などに参加して、適切な対応に努めている。
	㊵	子どもや家族等に了解を得た上で、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4	1	
	㊶	食物アレルギーのある子どもに対して、医師の指示書に基づく対応を行っているか	2	5	1	・食物アレルギーの有無の確認は利用開始時に行っているが、現在は対象児童がいない。 ・契約の際にアレルギーの有無の確認を行っている。現在は該当児童がいない。
	㊷	事故やケガを防止するために、環境の安全性について配慮し、危険を排除する措置をとっているか	7	1		・ヒヤリハット報告で職員間で情報共有、協議を行い、改善に取り組んでいる。